

(報道発表資料)

2025年2月20日

西日本電信電話株式会社

大 分 支 店

「第73回 別府大分毎日マラソン大会」をボランティアとICTの力で支援 ～ ランナーへの給水活動と「いまどこ+」サービスの活用で大会運営をサポート ～

西日本電信電話株式会社 大分支店（支店長 谷 奈生絵、以下 NTT 西日本 大分支店）と、Sparkle Oita Racing Team（監督兼 GM 黒枝 美樹、以下 スパークルおおいた）は、2月2日（日）に開催された「第73回 別府大分毎日マラソン大会」にボランティアとして参加しました。

当日、NTT 大分グループ^{※1}の社員・家族 約60名は、33.5 km地点で給水活動を実施し、スパークルおおいたの選手は、大分市消防局・別府市消防本部の職員とペアになりマラソンコースを自転車で並走するモバイル AED 隊として走行。「いまどこ+ for Staff^{※2}」サービスを活用した AED 隊の位置情報“見える化”で安心・安全な大会運営をサポートしました。

※1：NTT 西日本大分支店、NTT ビジネスソリューションズ、NTT フィールドテクノ、NTT インフラネット、NTT アノードエナジー、NTT ドコモ、SYSKEN、西部電気工業、テルウェル西日本

※2：「いまどこ+」サービスは NTT スマートコネクト社が提供する位置情報共有サービス
<<https://cloud.nttsmc.com/imadoko/>>

1. 実施概要

（1）33.5 km地点での給水活動

【実施場所】大分市内マラソンコース沿道（33.5 km地点）

【参 加 者】NTT 大分グループの社員・家族 約60名

【活動内容】コース沿道に設置された 33.5km 地点の給水ポイントでランナーへの給水活動を担当。
黄色いシートで覆ったテーブルを並べ、水の入ったコップをランナーが給水しやすいように配置。また、選手が飲み捨てたコップを素早く回収し、少なくなったコップをすぐに補充できるようにメンバー同士で協力しながら工夫を凝らして活動しました。



(2) モバイル AED 隊の位置情報 “見える化” トライアル

【実施場所】モバイル AED 隊：大分・別府市内のマラソンコース

オペレータ：ジェイリーススタジアム内の大会運営本部

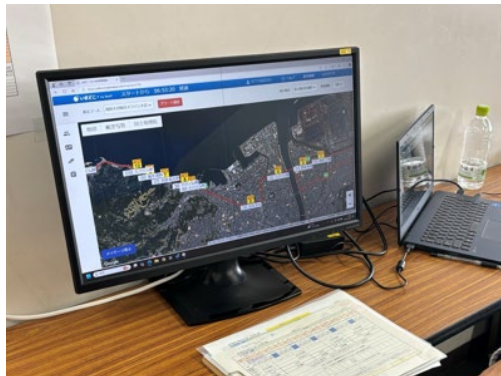
【参 加 者】モバイル AED 隊：スパークルおおいた選手 5 名

大分市消防局・別府市消防本部の職員 15 名

オペレータ：スパークルおおいた GM 1 名

NTT 西日本大分支店社員 1 名

【活動内容】モバイル AED 隊は、小型 AED や医療器具、モバイル端末を携行しマラソンコースを自転車で走行。2 人 1 組の 10 隊に分かれ、怪我や体調不良のランナーに対応しました。医務本部では、「いまどこ+ for Staff」を活用したモバイル AED 隊位置情報の“見える化”デモを実施。スパークルおおいた黒枝 GM と大分支店メンバーがオペレータとなり、モバイル AED 隊の現在位置や付近目印の情報共有を行い、「いまどこ+ for Staff」サービスの活用シーンを運営へ訴求しました。



2. 参加者の声

- ・トップランナーのスピードに驚いたし、選手がスムーズにコップを手にしてくれた時はうれしかった
- ・雨が降らずに良かったが、初めて参加したので、コップの水がこぼれてズボンがずぶ濡れになった
- ・医療班スタッフより、モバイル AED 隊の位置が常に最新に更新されているため、現場からの報告に対して、より精度の高い指示ややり取りができるようになる点が非常にありがたい。

3. 今後の展開

今後も NTT 西日本 大分支店は、地域の皆様との接点を大切にしながら、地域貢献活動に取り組んでまいります



※ニュースリリースに記載している情報は、発表日時点のものです。変更になる場合がありますので、あらかじめご承知いただくとともに、ご注意をお願いいたします。